

シナプス

第205号

明るく 優しく たくましく



学校法人 大東中央学園

大東中央
幼稚園

大東中央幼稚園園長室だより
平成25年10月21日発行

☆園長コラム ☆キンダーカウンセラーコラム
☆担任の保育日誌から ☆身体測定結果

ごく当たり前の生活習慣で！ー2

コンビニのアイスクリーム販売用冷蔵庫内に寝そべっている写真をブログにアップする。中華料理店内で複数の男性が全員全裸で座っている写真をブログにアップする。店内厨房で、ピザの生地を自身の顔に貼付けた写真をブログにアップする。走行中の路線バスの清掃整備用ステップに掴まっている写真をブログにアップする。等々の行為をテレビ等のメディアが報道しているのを見ましたが、彼らは、自己顕示欲だけでやっているのでしょうか、後々に友だち（知り合い）に自慢したいための行為でしょうか、私には、これらの行為を受け入れることも理解することも到底出来ません。自身の関係する立場の人々や舞台上にされた関係者の人々にどれほどの迷惑になる行為なのかを考えられないとするならば、ほぼ一人前の年齢まで育って来た環境はどんなものだったのか、家庭教育や学校教育の中での社会教育（一般常識教育）を全く受け入れて来なかったのか、はなはだ理解に苦しむところです。

理解に苦しむと言えば、ごく一般の個人（大半が若者でしょう）が、日々の自身の言動や思いをブログにアップする・ツイッターでつぶやく行為が理解出来ません。まして、自身の顔写真を含めた個人情報、少しの危惧もなしにアップして、お友達になりましょう・お友達を捜しています・おつきあいしましょうなんて、とんでもないこと。場合に依っては、全世界の人々に、それこそ瞬時に伝わってしまうわけですから、どこからどんな人がアクセスしてくるかが全くわからない中で、たまたまもらった返信に唯々諾々と応えてしまう。中には、とんでもない悪意を隠している場合もあるわけで、殺人犯罪報道でも度々、きっかけがインターネット＝フェイスブックだのSNSだのラインだのブログだの＝であることを目にしたり耳にしたりすることがあります。

大体、見ず知らずの人同士が、ネットを通じて、いとも簡単に「逢いましょう」となることの恐さがわ

かっていないことが不思議でもありますが、そこには日本人特有の“おひとよし”“すぐにヒトを信じる”という＝長い長い歴史の中で培われて来た＝人格が隠れているのかもしれないことに思いを至らすと、ぞっとするものがあります。[決して『ヒトを見たら泥棒と思え』と言いたいものではありません。]

ヒトとヒトとの付き合いは、家族関係の中から出発して、幼稚園や保育園・学校・学校間交流・課外活動での交流・地域社会・奉職した会社・会社同士の人事交流や取引関係・各種の趣味を同じくする人たち等々、自身の関係する人たちと“顔を合わせ”“目を合わせ”“言葉を交わせ”“心を通わせ”“ともに行動し”ながら深めていくものであり、ネット上の仮想世界の中は飽くまで仮想であり、本物の付き合いでは決してありません。仮想の世界でのおつきあいは飽くまで仮想です。仮想と現実の区別が出来ない人たちが、どうしてこうまで増えて来たのでしょうか。芸能人に憧れて“追っかけ”になる様なものなのでしょうか。追っかけなら未だかわいいものだと言えますが、それが嵩じて“ストーカー”になんて、とんでもない事です。この追っかけは、時間もかかる・費用もかかる等で未だ現実味がありますが、仮想世界の中で、自分勝手な独りよがりの一方的な“恋”に陥ってしまっただけで独り占めにしたいと思ってしまうことは、常識人には考えられないことだけれど、一部の偏った考えを持つ人たちにはいかにも簡単だと思われまから恐ろしいことです。

お母様方、授乳しながら、我が子の目を見つめようとしてもしないで携帯画面に・スマホ画面に夢中になっていませんか、子どもが話しかけているのに「ちょっと一お今こっち見てるから」「ちょっと待って」ましてや「うるさいなっ！」なんて言っただけは、いませんか。その言動は、我が子を仮想世界に引き込んでしまう“誤ったしつけ”になってしまいます。

我が子には、常に目を合わせて下さい。心を開いたままにして下さい。話を聞いて受け入れて下さい。言動を認めてあげて下さい。 辻本 博人